

IT can create it.

KEYWARE

2016 CSR REPORT

キーウェアグループ CSR報告書





ICTを活用し お客様の夢・理想の実現、 持続可能な社会の実現 を目指します

代表取締役社長 **ニ 田 昌 弘**

■ キーウェアグループのCSR

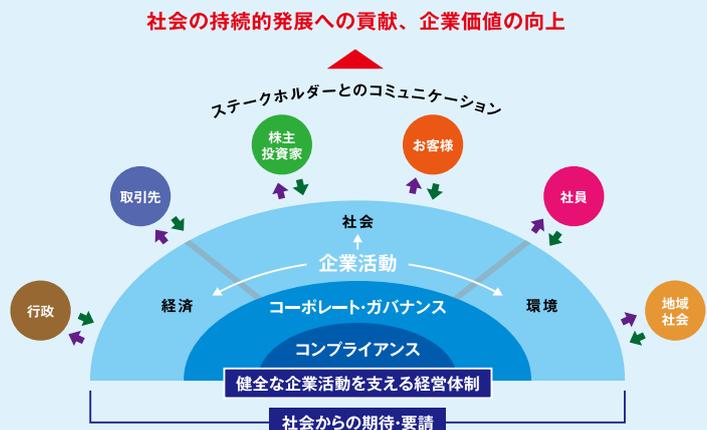
キーウェアグループは、社会的役割として「創造性に富んだ情報技術によってお客様の要求を超えたソリューションを提供し、お客様の夢・理想を実現させ、豊かな社会の発展に貢献する」ことを掲げています。安全・安心かつ安定した最適な製品・サービスを提供すること、事業を通じて持続可能な社会の実現を目指すことが当社の社会的責任であり、CSRの基本的な考え方です。

昨今、企業不祥事が続いています。企業には、お客様や社会から信頼され、持続的に社会的責任を果たすことが求められています。会社は、状況を歪めずに情報発信をしていくこと、また、社員が正直に現状を報告する風土であることが重要であると考えます。

コンプライアンスを実践することはもとより、当社グループに起因するシステムの不具合や情報セキュリティ事故によりお客様に損害を与えるような事態は絶

● CSRの考え方

キーウェアグループは、社会からの信頼や期待に応じていくために、お客様、株主、社員、取引先、地域社会をはじめとするあらゆるステークホルダーの方々と積極的にコミュニケーションを図りながら事業活動を行うことにより、社会の持続的発展への貢献を目指しています。



対に起こしてはなりません。当社グループは、官公庁、運輸、通信、金融、医療、流通、製造等の多様な分野において社会インフラを支える情報システムの構築に携わっており、常に注意を怠らず、社会に迷惑をかけないように神経を研ぎ澄ませておく必要があります。そのために、社内体制を整えるとともに、社員への教育・啓蒙を続けています。

当社は、50周年の節目である2015年度に3ヵ年中期経営計画をスタートさせました。持続的な成長を実現するために、中期経営計画の基本方針として「既存事業の収益性の向上と安定化」、「ポートフォリオの多様化」、「経営基盤の整備・改革」を掲げ、取り組んでいます。ICTの利活用により、さまざまな社会が抱える課題への対応を目指し農業ICTやヘルスケア・医療などの事業に取り組んでおり、農業ICTソリューション「OGAL」の導入や、健康管理サポートサービス「LifeRoute」の企業向け展開を進めています。

■ 重要事項としての取り組み

お客様に最適な製品・サービスを提供し、豊かな社会の実現に寄与するためには、社員が心身ともに

健康で、公私ともに充実した生活を送ることも大切な要素だと考えています。

IT企業にとって最大の経営資源は「人」です。

「健康経営」と「ワーク・ライフ・バランスの実現」こそが将来の成長につながります。

昨年度から、各部門やプロジェクトの特性・環境等を踏まえ実情に合わせた施策に取り組み、時間外勤務は16%の削減を達成できました。今年度も引き続き、作業負荷の軽減や生産性の向上に努め、時間外勤務の削減や有給休暇取得促進について、社員が主役となり、主体的に取り組める施策を展開していきます。

また、社員への教育を重要事項として捉え、コンプライアンスや人権に関する教育を定期的に行っています。

お客様に最適な製品・サービスを提供するためには、創造力やコミュニケーション能力の向上が不可欠です。社員が望むスキル向上を達成するために、会社として資格取得支援等を行っています。

情報処理技術者試験やプロジェクトマネジメントの国際資格であるPMP®等の資格取得者は年々増加しており、着実に社員のスキルアップにつながっています。

経営理念

事業領域	情報技術に関する全てを事業領域とします。
企業風土	個人の個性と能力を発揮することに価値を置きます。
社会的役割	創造性に富んだ情報技術によってお客様の要求を超えたソリューションを提供し、お客様の夢・理想を実現させ、豊かな社会の発展に貢献します。
企業スローガン	<u>IT can create it.</u> クリエイティブな発想で、ITの持つ無限の可能性を現実のものとしします。

当社は「若く優秀な人材が率先して選ぶ会社になる」ことを目指しており、2013年からスタートした取り組みとして、社員の力を結集し、キーウェアを“イキイキ”とした会社に革新しようと、社員からさまざまな提言を出してもらうIKI! (イキイキ) プロジェクト※を展開しています。これまで250名以上もの社員が約40チームに分かれて参加し、担当業務のかたわら、それぞれのテーマに沿って問題・課題の抽出から提案まで積極的に取り組んでいます。参加者は入社1年目から役職者まで幅広く、皆がイキイキとして取り組み提言まで行っており、自分なら何ができるかを常に考え、小さなことでも変えていく、自律的な行動をとることの重要性を社員が実感し、実践しています。

2015年度には、創立50周年のイベントとして、未来の可能性を創造し、オリジナリティのあるアイデア

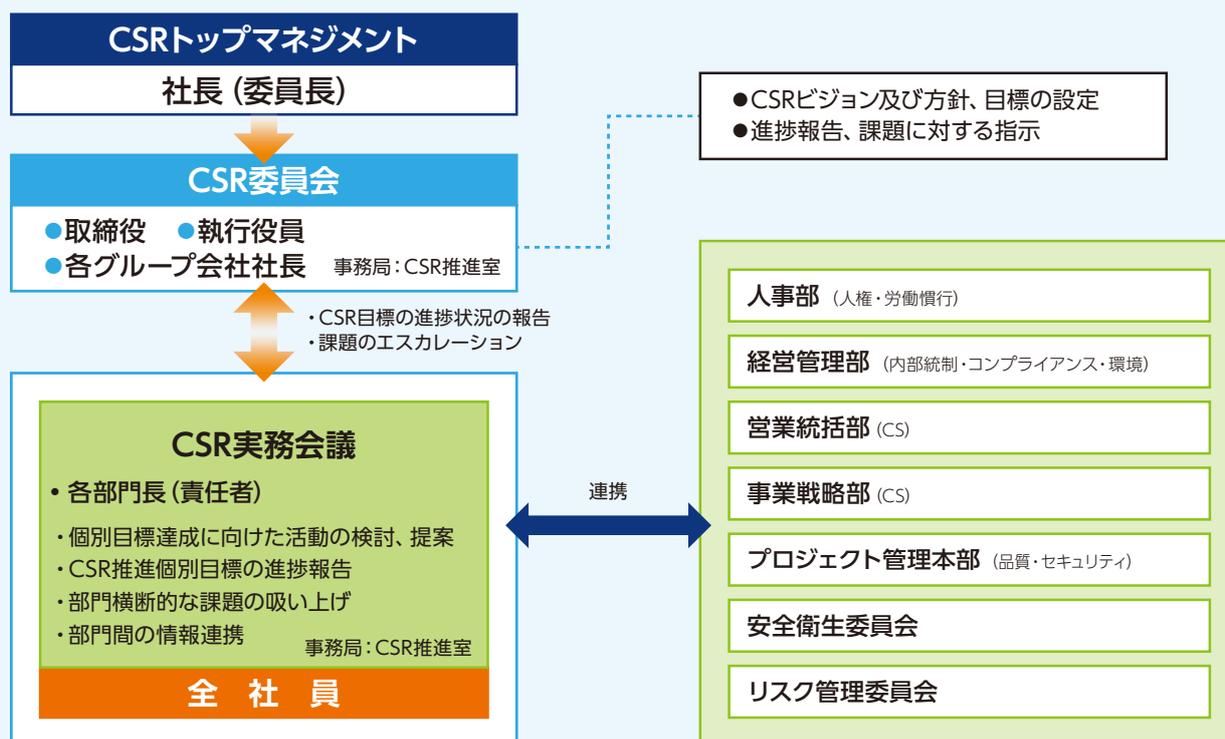
を募集するコンテストを実施しました。約30件のアイデアが寄せられ、厳正な選考の結果選ばれた作品には賞が授与されました。

※IKI! (イキイキ) プロジェクト/!Innovate Keyware! Initiativeの頭文字から

■さらなる成長に向けて

品質のよい製品・サービスを提供することはもとより、お客様に提供するまでの過程も重要です。全過程においてコンプライアンスを徹底し、確実なプロジェクト管理を行うことを心がけ、常に最先端技術の探求と普及に努め、ステークホルダーの皆様へ信頼され、成長を期待される企業となるべくさらなる努力を重ねてまいります。

[CSR推進体制]



[CSR方針]

キーウェアグループは、社会からの信頼や期待に応えていくために、お客様、株主、社員、取引先、地域社会をはじめとするあらゆるステークホルダーの方々と積極的にコミュニケーションを図りながら持続可能な社会の実現を目指します。

キーウェアグループは、7つの重点領域においてCSR活動に取り組めます。

1 組織統治

我々は経営の健全性・透明性を保ちながら、継続的に企業価値を向上させていくために、経営の効率化・意思決定の迅速化を図りながら適切なコーポレート・ガバナンスの構築・維持に取り組めます。

2 人権の尊重

- 我々は、あらゆる企業活動の場面において、人々の人権を尊重し差別のない職場環境を目指すとともに強制労働を認めません。
- 従業員一人ひとりの個性や異なる発想・価値を受け入れ、多様な人材が能力を十分に発揮し成長できる企業を目指します。

3 労働慣行

我々は、情報サービス産業の最大の経営資源は人材であることを認識し、人材の育成と高度化、適正な評価と魅力ある処遇、ワーク・ライフ・バランスなどを実現し、社員一人ひとりが将来を託し夢をかなえられる環境を目指します。

4 環境

我々は地球環境問題を社会の共通課題と捉え、環境負荷の低減を目指し、持続可能な社会の実現に寄与します。

5 公正な事業慣行

我々は、法令及び定款の遵守に限らず、社会規範や倫理、道徳など基本的な行動規範の遵守を徹底し、公明正大な事業活動を推進します。

6 消費者に関する課題

我々は、品質・情報セキュリティ・個人情報保護・環境についてのマネジメントシステムを運用し、安全・安心かつ安定した製品・サービスを提供します。

7 コミュニティへの参画及び発展

企業市民として社会と共生し、次世代人材の育成、地域社会・国際社会への協力、地球環境保護に寄与します。

暮らしの中の
キーウェア

私たちは、情報システム・サービスを通じて豊かで便利な社会の発展を支えています。

01 空港で



航空関連システム

航空分野で効率的かつ安全な航行を実現するために高い信頼性を必要とするシステムの構築に携わっています。



02 工場で



ERPソリューション

製造・プロセス業／サービス業／商社のお客様を中心に多くの基幹系業務システムの導入実績を有しています。お客様の事業に最適なERPパッケージを活用し、導入提案から構築・運用に至るまで、一貫したサービスを提供しています。



03 流通で

商社向け在庫管理・
入出庫管理システム

商社向け在庫管理や入出庫管理システムの構築に携わっています。



04 高速道路で



交通情報ソリューション

各種交通情報（渋滞、信号機制御、感知器情報等）の蓄積、表示板への渋滞情報や位置情報等の表示に関するソリューションを提供しています。



05 街中で

野球・ゴルフ・大相撲などの
スポーツ情報のニュース配信システム

作成側と取り込み側両方の技術を有し、配信社および新聞社など複数の事例を手がけています。



06 固定電話で、携帯電話で

一般電話（NTT）、携帯電話の通信情報、
パケット通信情報、顧客管理、料金管理など

20年以上にわたってネットワーク事業者の顧客料金システム開発に携わっています。通信料金を計算して各センターに設置されている料金明細センターへ転送するシステムの開発、保守・運用を行っています。

07 病院で

オーダーリングシステム、電子カルテ、
臨床検査システム、
院内感染監視システム

病院や検査センターにおける各種医療情報システムのコンサルティングから導入・保守・運用までの一貫したサービスを提供しています。



08 銀行で

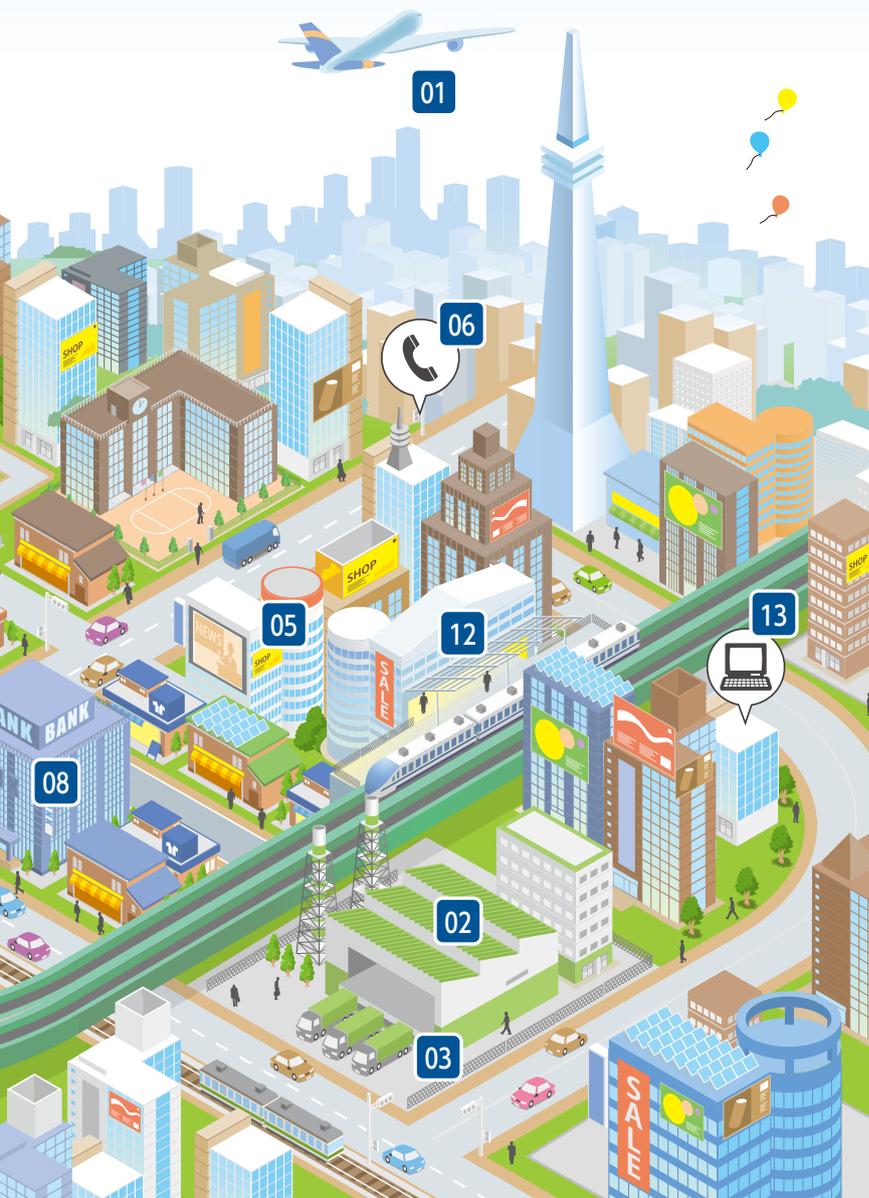


金融ソリューション

金融システム構築における各種設計技術と各種業務設計ノウハウの提供をベースに、勘定系業務・情報系業務のシステム構築に対し、上流から下流工程までの一貫したソリューションを提供しています。



安心 安全 便利



15 農場で



ハウス栽培向け農業支援サービス

ハウス栽培における環境や農作業の情報をセンサーネットワークと連携したクラウドシステムでモニタリングすることで栽培技法の可視化や農作業の省力化を支援するサービスを提供しています。



14 宇宙で



衛星追跡管制・衛星関連データ処理宇宙ステーション運用管制

地上側での衛星運用に関わるソリューションを提供しています。日本の宇宙開発の黎明期から国家プロジェクトに参画し、多くの実績を有しています。

13 オフィスで



経営とITの統合コンサルティング

ITの実装を真に価値あるものとするために、経営戦略や中期経営計画の策定、情報化企画からITの実装・運営までをシームレスかつ全面的に支援しています。

ハイブリッドシンクライアントソリューション

既存端末を活用して、シンクライアント環境を構築するソリューションです。シンクライアント導入時のコストを抑え、段階的なシステム移行を可能とします。端末からの情報漏えい防止、アプリケーション・データの利用と管理を分離し運用管理コスト削減を実現する最適なソリューションです。自治体、医療、民間のさまざまなフィールドのインフラとして利用されています。

非接触型指ハイブリッドソリューション

指ハイブリッド（指紋と指静脈）認証を可能とする組み込み用途向け小型モジュールを提供。入退室リーダーや複合機等の高いセキュリティが求められる機器において、セキュリティを強化することが可能です。

電子錠システム

Interactive CLIQは一本の鍵で複数のシリンダーを施解錠管理（設定、変更、履歴収集）する電子錠です。極めて精度の高い情報保護・セキュリティ確保をサポートします。



12 ホームで



駅のホーム用車両接近状況表示、行先案内表示、緊急案内表示

鉄道のホームやコンコース用の案内表示等の旅客案内ソリューションを提供しています。



09 自宅で



ショッピングサイト

商品販売サイトのシステム開発に携わっています。

在宅就業支援、テレワーク

シンクライアントソリューション、クラウドサービスを利用し、在宅就業やテレワークの環境構築を行っています。

10 モバイルで



スマートフォン向けアプリ

スマートフォンを活用して日々の体重や血圧等の数値データを登録・管理できる健康管理サポートサービス「健康からだコンパスLifeRoute（ライフルート）」を提供しています。食事情報や日々の数値データを振り返ることにより、健康維持をサポートします。



11 駅の改札で



駅改札におけるICカード利用など

出札業務をはじめ、駅の財務会計業務、他社路線との精算業務、ICカードを利用した業務に関するソリューションを提供しています。



キーウェアグループは、
経営の健全性・透明性を保ちながら、
継続的に企業価値を向上させていくために、
経営体制の強化に取り組んでいます。

コーポレート・ガバナンス

基本的な考え方

当社グループは、持続的に成長し、長期的に企業価値を向上させ、社会やステークホルダーの皆様から信頼され成長を期待される企業となるためには、コーポレート・ガバナンスが極めて重要であることを認識しており、経営の透明性・健全性の確保、意思決定の迅速化、経営監督機能の充実化、ステークホルダーとの適切な協働により、コーポレート・ガバナンスの充実を図っていきます。

経営監督機能と業務執行機能

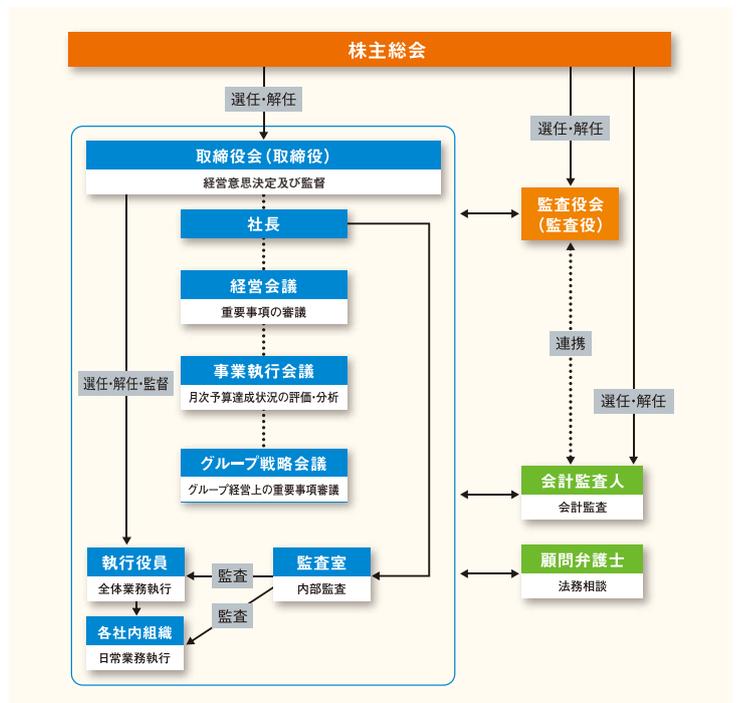
キーウェアソリューションズ(株)におけるコーポレート・ガバナンスの基本は、取締役の「経営監督機能」と執行役員「業務執行機能」において責任と権限を明確化することです。

取締役会の透明性を担保するために、社外取締役を選任しています。取締役6名のうち1名は社外取締役です。取締役の任期は、毎年度の経営責任を明確にするために1年としています。

業務執行機能を担う執行役員は、代表取締役により任命され、取締役会が決定した基本方針に従って業務執行にあたっています。執行役員は7名で、その任期は1年です。なお、取締役2名が執行役員を兼任していますが、当該兼任者の執行役員としての経験や知識は、取締役としての経営監督機能を高めるものと考えています。

監査体制

監査役及び監査役会による経営監視体制を構築しています。監査役3名のうち2名は社外監査役です。監査役の任期は、監査の独立性を確保してその地位を堅固なものにする必要があることから、4年としています。



コーポレート・ガバナンス体制(概略)

コンプライアンス

基本的な考え方・推進体制

キーウェアグループでは、法令及び定款の遵守に限らず、社会規範や倫理、道徳など基本的な行動規範の遵守を徹底し、公正正大な事業活動を推進しています。

また、役職員が、健全な社会規範のもとにその職務を遂行するため、経営管理部においてコンプライアンスへの取り組みを横断的に統括することとし、同部を中心に教育等を実施しています。



内部通報制度

キーウェアグループでは、法令、社内規定違反などコンプライアンスに反した行為を予防するとともに、早期に発見し、解決するため、「ヘルプライン窓口」を設置しています。通報はプライバシーに配慮した調査のもと、対処・処置については通報者にフィードバックする仕組みとなっています。

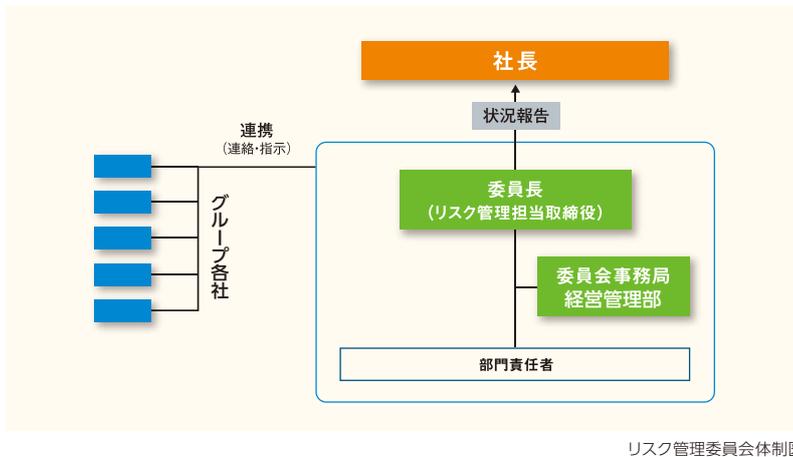
コンプライアンスの啓発・教育の実施

キーウェアグループでは、社員のコンプライアンスへの意識向上を図るため、コンプライアンスに関する情報を全社員向けに発信するほか、情報セキュリティ及び社員の倫理的行動を促すことを目的とした教育を全社員向けに実施しています。

リスクマネジメント

基本的な考え方・推進体制

キーウェアグループでは、自然災害、事故、伝染病及び会社の事業運営に重大な影響を及ぼすリスクの未然防止、発生したリスクへの速やかな対応を行うことにより事業運営を継続することを目的とし、リスクマネジメントを推進しています。推進体制として、「リスク管理規程」に基づいてリスク管理委員会を設置し、各リスクごとに事業継続のための対処方法等を各種規程等に定め、それらに基づいたリスクマネジメントを実行しています。



リスク管理委員会体制図

大規模災害への対策

地震、台風、伝染病、テロ及び社会インフラ、ライフラインの寸断などによる大規模災害が発生し、キーウェアグループが被害にあった場合、またあう恐れのある場合、社員の安全確認や事業早期再開に向けた基本方策として「災害対策規程」を整備し、行動マニュアルや備品(3日分の水、食料、ブランケット、簡易トイレ等)の整備、防災訓練などを実施しています。

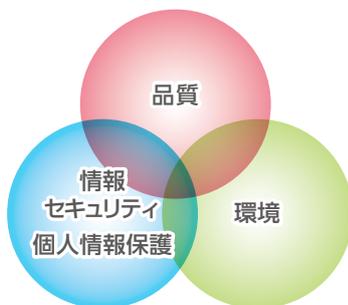


防災訓練の様子(本社)

統合マネジメントシステム (品質・情報セキュリティ・個人情報保護・環境)

基本的な考え方

キーウェアグループでは、品質マネジメントシステム(QMS)、環境マネジメントシステム(EMS)、情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)、及び個人情報保護マネジメントシステム(PMS)を統合したマネジメントシステム「iSMASH」を運用しています。



※iSMASH: Integrated Synthetic Management System of Quality Assurance for a Software House



品質

キーウェアグループでは、品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001認証を取得し、品質の向上に取り組んでいます。また、品質マネジメントシステム(QMS)の運用だけでなく、現場レベルのPDCAサイクルの好事例を横展開し、全社で品質マネジメントシステム(QMS)をブラッシュアップする活動を進めています。

情報セキュリティ

キーウェアグループでは、ISMS認証を取得し、機密情報管理を徹底しています。また、日常的に守るべきルールを「情報セキュリティ遵守事項」としてまとめ、全社員及び当社業務に関わるパートナー社員に配付しています。「情報セキュリティ遵守事項」は、社内外の状況変化に対応するため、毎年見直しています。これに加え、全社・部門・プロジェクト等の各階層において、情報セキュリティ教育を継続的に実施し、情報セキュリティ意識の向上を図っています。



個人情報保護

キーウェアグループでは、個人情報の取り扱いに際して十分に配慮し、個人情報保護に努めています。また、キーウェアサービス(株)及びキーウェア九州(株)を除く各社において、プライバシーマーク認証を取得しています。

キーウェアグループでは、
環境問題への取り組みを企業の社会的責任と認識し、
豊かな社会と環境の実現のため、
生物多様性の保全及び温室効果ガス削減に
積極的に取り組んでいます。

環境目標

目的	2015年度		2016年度
	目標	実績	目標
環境パフォーマンスの向上	電力使用量：2014年度実績と同等以下	2014年度比6.5%減少	電力使用量：2015年度実績と同等以下
	紙使用量：2014年度実績と同等以下	2014年度比16.4%減少	紙使用量：2015年度実績と同等以下
	廃棄物量：2014年度実績と同等以下	2014年度比26.3%減少	廃棄物量：2015年度実績と同等以下
	グリーン調達率：2014年度実績と同等以上	2014年度比8.1%増加	グリーン調達率：2015年度実績と同等以上
	環境教育の継続実施	環境テストの正解率は2014年度より8ポイント上昇	(環境教育は継続して実施するので、目標として設定はしないこととしました)

環境パフォーマンス



※ 保護(まもる)くんを活用したリサイクル活動

	2013年度	2014年度	2015年度
年間排出量	14,590kg	12,570kg	11,220kg
森林伐採抑制量	216本	186本	167本
CO ₂ 排出抑制量	6,235kg	5,367kg	4,825kg

保護(まもる)くんとは、

(株)日本パープルが提供している、重要書類の保管・機密抹消処理・リサイクルシステムです。本サービスを活用することで、紙類・PC関連媒体のリサイクルに貢献し、地球環境の保護にも貢献しています。

特筆すべき活動

： 環境関連の法規制遵守

環境法規制、地方自治体の条例やお客様からの要求事項を特定し、定期的に遵守状況を確認しています。

その結果を経営者へ報告することで、遵法性評価のPDCAを確実に展開しています。

： 「ニチバン巻心ECOプロジェクト」への参加

キーウェアグループは、「ニチバン巻心ECOプロジェクト」に参加しました。「ニチバン巻心ECOプロジェクト」とは、使い終わったガムテープやセロハンテープの巻芯を回収し、段ボールにリサイクルし、回収利益をマングローブの植樹に役立てる活動です。

資源の有効活用だけでなく、マングローブの植樹により、豊かな生態系の再生、地球温暖化の防止、周辺地域を台風や高潮被害等から守るなど、環境保護にも貢献しています。



： 世田谷みどり33

キーウェアソリューションズ(株)本社のある世田谷区では、区制100周年(2032年)に区の面積の3分の1をみどりにする(みどり率33%の達成を目指す)という「世田谷みどり33」を実施しています。当社でもこの活動に賛同し、みどりを増やすべく本社裏手で花や野菜等を栽培しています。また、「世田谷区みどりのトラスト基金」にも協力をしています。



： ECO事業所宣言

キーウェアグループでは、各自治体が実施しているエコ事業所に登録しています。

- キーウェアソリューションズ(株)本社
せたがやエコライフ推進事業所宣言ECO2レベル
- キーウェアサービス(株)
せたがやエコライフ推進事業所宣言ECO2レベル
- キーウェア西日本(株)本社
関西エコオフィス宣言登録事業所
- キーウェア西日本(株)中部ITセンタ
名古屋市認定エコ事業所
- キーウェア北海道(株)
さっぽろエコメンバー レベル3
- キーウェア九州(株)
福岡県エコ事業所
- (株)クレヴァシステムズ
みなとエコ宣言

： 環境教育

キーウェアグループの環境活動に関わるすべての関係者に教育を実施しています。

- 全グループ社員及び当社業務に関わるパートナー社員に対しWBT(Web Based Training)による環境教育を実施。また、中途採用者及びプロジェクトへの新規参画パートナー社員に対する教育を随時実施。
- その他協力会社(廃棄物処理業者・清掃業者等)に対し、周知文書・依頼文書を通じた教育を実施。

： 木植えあプロジェクト(東北支店)

2016年5月28日(土)、千年希望の丘植樹祭実行委員会(岩沼市、森の長城プロジェクト、森の防潮堤協会、千年希望の丘協会)が主催する、第4回 千年希望の丘植樹祭2016に、東北支店から支店長をはじめとして7名が参加しました。

千年希望の丘植樹祭とは、東日本大震災で被災した岩沼市沿岸部に市が造成中の「千年希望の丘」で、津波の威力を減衰させる緑の防波堤を築くための苗木を植えるイベントです。

今回の植樹祭は晴天にも恵まれ、全国から約1万2,000人のボランティアが参加し、過去最多となる約10万本の苗木を植えました。

植樹地は大きく千年希望の丘11号丘から13号丘までを、AからDブロックに分けており、当社はB-27植樹ブロックでした。

植樹作業は植樹ブロック毎に植樹リーダーが任命されており、植樹リーダーの指示のもと、作業を行いました。

植樹地は斜面のため、苗を植える、ワラを敷く等の植樹作業は予想以上に体力を使いました。

当社からの参加メンバーは皆、積極的に植樹作業を行い、やり終えたときは、達成感と一体感を味わうことができました。

また、あるメンバーは、地元でありながら岩沼市沿岸部に来たのは初めてで、千年希望の丘の広さと工事中の現状に愕然とはしましたが、大勢の参加者から発せられる復興へ向けてのパワーを感じたとのことでした。

東北支店の役割のひとつは、東日本大震災からの復興に少しでも役に立つ活動を行っていくことです。次回も参加したいと考えています。



キーウェアグループは、経営理念として掲げている「社会的役割」の考え方にに基づき、企業活動を通じて豊かな社会の発展に貢献するとともに、さまざまなステークホルダーの皆様との関係を重視し、共に成長・発展していくための取り組みを行っています。

お客様とともに

※ お客様満足度 (CS) 向上

キーウェアグループでは、より高品質のソリューションサービスを提供し、お客様にご満足いただくため、日頃より改善活動に努めています。

※ お客様満足度 (CS) アンケート実施

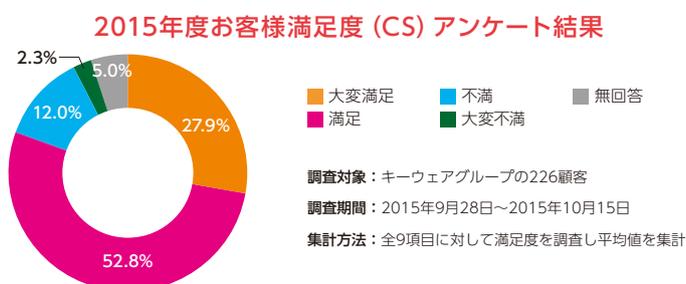
キーウェアグループでは、定期的に主要なお客様に対して満足度調査のアンケートを実施し、自身の業務の改善やお客様によりご満足いただくために結果を活用しています。

いただいたご意見／ご指摘につきましては、直ちに社内でも共有し、改善に取り組んでいます。

※ CS改善活動実施

よりお客様にご満足いただくため、各部門にてアンケート結果の分析を行い、CS改善活動計画を策定し、改善活動を実施しています。

各部門での活動状況は、経営層を含め月次で確認し、改善活動を推進しています。



株主・投資家の皆様とともに

※ 基本的な考え方

キーウェアソリューションズ(株)は、市場から適正な評価を得るために、企業としての説明責任を果たすことを経営の最重要課題の一つとして位置づけています。

株主・投資家をはじめとしたステークホルダーの皆様へ、充実した情報開示を行うことにより、キーウェアグループに対する理解を深めていただくとともに、皆様の声を社内へフィードバックし、経営・IR活動へ活かしていくことで企業価値向上に努めていきます。

※ 情報開示の基本方針

株主・投資家の皆様に適時、正確かつ公平な情報を提供するため、会社法、金融商品取引法、各種法令等を遵守し、東京証券取引所の「有価証券上場規程」で定める情報及びそれらに準拠した情報ならびにその他の重要な情報を迅速に公開するほか、キーウェアグループを理解していただくために有効な情報についても、積極的な開示に努めることを基本方針としています。

※ 株主・投資家の皆様とのコミュニケーション

株主・投資家の皆様向けのIRツールとして、株主通信「KEYWARE TIMES」や、アニュアルレポートなどを発行しています。また、多くの方に迅速かつ公平にIR情報をお伝えするため、IRサイトにおいて、決算情報、財務データをはじめ、キーウェアグループの強みや特長などを日本語と英語で掲載しています。また、アナリスト・機関投資家向け決算説明会を開催し、その様子を動画で配信しています。



株主通信「KEYWARE TIMES」



機関投資家向け決算説明会

● 所有者別株式分布状況 (2016年3月31日現在)



地域社会とともに

※ 東日本大震災 復興支援活動

東日本大震災からの復興を願い、東北6県の祭りが集う「東北六魂祭2016」が2016年6月25日(土)～6月26日(日)に青森県青森市で開催されました。今回も大変盛況で約27万人の来場者がありました。

キーウェアソリューションズ(株)は、「東北六魂祭」の開催趣旨に深く共感し、東日本大震災復興支援への取り組みの一環として、6回目となる今年もベネフィット・ワンふれあい広場に出展しました。当社のブースでは、花の種やタトゥーシールの配布、タブレット端末を活用した抽選等のイベントを行い、大変多くの方々にご来店いただきました。キーウェアグループでは、今後も企業活動を通じ、復興支援のお役に立てるよう取り組んでまいります。



※ 高校生へのキャリア体験学習支援

NPO法人「学校サポートセンター」を通じて、修学旅行で東京を訪れた高校生へのキャリア体験学習支援を行っています。

※ インターンシップの実施

学生の皆様の職業観・就業意識の形成・向上を目的として、インターンシップを実施しています。

システムエンジニアの仕事を理解していただくために、仮想プロジェクトチームを組み、当社が開発した企業向けソリューションを用いてお客様企業の問題解決を図る企業向けサービスや、暮らしの中にある身近な課題をもとに、新たなサービスを創出するサービス企画開発のプロセスなどを体感していただきました。

※ 福島ひまわり里親プロジェクト

キーウェアグループでは「福島ひまわり里親プロジェクト」に参加しています。

「福島ひまわり里親プロジェクト」とは、2011年5月に福島と全国の絆づくり、教育対策、雇用対策、観光対策等々のさまざまな思いを込めてスタートしたプロジェクトです。里親は種を購入し、栽培し、種を採取して送り返します。その種を福島県内で栽培し、採取した種から油を搾り福島県内で使用します。これらの過程で雇用が生まれ、参加者との絆が生まれ、教育効果もあるというものです。

キーウェアグループは2014年から参加し、今年も多くの役員・社員が里親としてひまわりを育てています。



※ 地域清掃活動

キーウェアグループでは、本社のある東京都世田谷区で周辺地域の清掃活動に取り組んでいます。地域社会の環境美化や住みよい街づくりに貢献することを目的に、月1回実施し、役員・社員によるボランティアが参加しています。



※ 富士山清掃

キーウェアグループでは、(株)日本パープル主催の富士山清掃活動に参加しました。役員・社員の有志とその家族が参加し、富士山五合目駐車場を中心にゴミ拾いを行いました。

世界遺産である富士山を訪れる人が気持ちよく過ごせるような環境作りに協力したいという思いで、これからも参加したいと考えています。



※ JICA「世界の笑顔のために」プログラム

JICAが年2回実施している、開発途上国で必要とされているスポーツ・文化・教育・福祉などの関連物品の提供者を日本国内で募集し、派遣中のボランティアを通じて世界各地へ届けるプログラムに、キーウェアグループも参加しています。

※ 収集・リユース等のボランティア活動

キーウェアグループでは、社員一人ひとりの環境意識の向上や社会貢献のために、誰でも参加できるボランティアに取り組んでいます。

エコキャップ運動

ペットボトルのキャップをリサイクルメーカーへ売却し、その売却益をNPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会」に寄付

使用済み切手の回収

国際協力NGO ジョイセフへ寄贈

不用カレンダーの寄贈

札幌ユニセフ協会及び日本災害救援ボランティアネットワークが主催するカレンダーリサイクル市に寄贈

ろうきんエコブック制度Re Bookに古本を寄贈

中央労働金庫が主催する障がいを抱えた方々のはたらく場をつくることのできる社会貢献活動Re Book制度に古本を寄贈

文房具の寄贈

途上国の教育支援を行う一般財団法人「NGO時遊人」に文房具を寄贈

社員とともに

： 人材育成への取り組み

キーウェアグループでは、社員と会社が互いに成長できる会社を目指しています。また、社員の技術スキルレベルの向上を図り、より専門性を高めることを、経営戦略の重要テーマとしています。

キーウェアグループでは、社員一人ひとりの適性・志向に合ったキャリアアップを支援するため、部門ごとに標準キャリアパスを設定し、そのキャリアパスに沿って、技術系/ビジネス系/ヒューマン系の体系的な研修を提供しています。そして、個人の育成計画を策定し、PDCAサイクルに沿った組織的・計画的な研修・OJT(先輩・上司による現場教育)による指導・育成を実施しています。すべての社員を対象として、「階層別研修」「目的別研修」「専門スキル研修」などの研修プログラムを実施しているほか、社員のスキル向上及び自己啓発支援の一環として、資格取得を推進し、会社が必要と認めた公的資格・認定資格を取得した者に対しては資格取得奨励金を支給しています。

またIT業界においてはPMの存在意義が一層増すことが想定されていることから、プロジェクトマネジメントに関する国際資格であるプロジェクトマネジメントプロフェッショナル(PMP®)資格取得支援を行っており、これまでに100名を超える社員がPMP®資格を取得しています。

： 女性社員の活躍を推進するための取り組み

女性社員が活躍できる環境を作るため、5ヵ年計画を策定し、実行します。

- 産休、育休中の情報提供や説明会の実施
- 全社員に対する働き方に関する意識改革を促す取り組みの実施(階層別研修など)
- 昇格候補者に対する意識付け(人事部や上司から)
- 職務に応じた適正な昇格資格の検討
- キャリア形成に対する意識を醸成するための女性社員の交流会、研修の実施(自社・他社のロールモデルの紹介、外部の女性社員との交流会など)

課長級・係長級の女性社員の人数

課長級 (管理職)	係長級 (一般職)
4名	12名

2016年4月現在、キーウェアソリューションズ(株)

： 健康管理とメンタルヘルスケア

社員が健康で安心して働ける環境づくりをテーマに、2007年にEAPサービス(外部カウンセラー相談窓口)を導入、2009年には保健師による健康相談(長時間労働者、健康診断有所見者)を開始し、社員ならびに家族の心身の健康をサポートする制度の充実を図っています。

また、改正労働安全衛生法により義務化されたストレスチェック制度について、キーウェアグループ役員・正社員・契約社員を対象に実施します。

ストレスチェック制度を通じて、各人のメンタルヘルス不調を未然に防ぐとともに、職場環境の改善に取り組み、働きやすい職場づくりを目指します。

： ワーク・ライフ・バランス ～次世代育成支援の取り組み～

社員がその能力を発揮し、仕事と生活の調和を図り、働きやすい雇用環境を整備できるよう、3ヵ年計画を策定し実行しています。

- 社員の負荷軽減と休暇取得促進を図り、年次有給休暇の年間取得日数を前年度以上、月間平均残業時間を前年度以下にして「健康経営」「ワーク・ライフ・バランス」を実現します。
- 仕事と子育て等の両立を支援・推進する諸制度(育児休業制度、育児時短制度、子の看護休暇、フレックスタイム制度、外部カウンセラー相談窓口など)の周知や情報提供を行います。
- 子育て等のための休暇や職務について、柔軟な対応が可能となるように制度の見直しを図ります。

育児休業取得者・育児時短勤務利用者数

	2013年	2014年	2015年	2016年
育児休業取得者	1人	6人	9人	8人
育児時短勤務利用者	7人	5人	4人	7人

各年4月1日時点、キーウェアグループ全体

： キーウェア北海道(株)の取り組み

キーウェア北海道(株)では、環境に配慮した取り組みを自主的に行い、広く札幌市民等に紹介することにより、環境に配慮した事業者の取り組みを広げていくことを目的に「さっぽろエコメンバー」レベル3(☆☆☆)に登録しました。



※ キーウェアサービス(株)の取り組み

キーウェアサービス(株)では、社内コミュニケーションの活性化を目的とし、社員有志がKeyCAT (Keyware Communication Activate Team) というチームを結成しました。

KeyCATでは、レクリエーションイベントや、スキル向上を目指した勉強会、ランニングやフットサル等の同じ趣味の仲間が集まるサークル活動の企画・運営を行っています。

発足1年目となった昨年度は、バーベキュー、ボウリング大会、日帰りバスツアーなどのレクリエーションイベントや、技術スキルの共有・向上を目的とし、「Knowledge Transfer」と名付けたノウハウ継承勉強会を行うなど、部門の垣根を越えた社内交流の場を提供してきました。一方で、ランニングサークル「KHK」(キーウェア走る会)のメンバーが、「ザ・コーポレートゲームズ 東京 2015」や「企業対抗駅伝」といった数々の大会に出場するなど、社内だけでなく社外へも活動の幅を広げていきました。

まだ出来たばかりのチームで、試行錯誤を繰り返している段階です。発足2年目となる今年度は、このような活動が長く継続できる仕組み作りに力を入れていきたいと考えています。



※ キーウェア西日本(株)の取り組み

キーウェア西日本(株)では、日頃顔を合わせない社員間の親睦を図るため、昨年から本格的にアウトドアサークル活動を開始し1年が経過しました。主な活動は4月、桜で有名な吉野山、9月、自然豊かな大台ヶ原、11月、紅葉がきれいな比叡山、2月、猿と滝で有名な箕面への散策や山登りと、多くのメンバーが参加しました。その他、有志で5回ほどさまざまな山へ登りました。ベテラン社員から若手社員までが自分のペースで空気の美味しい所を歩いたり、きれいな景色を見たり、仕事を忘れ楽しんでいきます。

2年目も昨年以上の活動を企画し、多くの社員と楽しい時間を過ごしたいと思います。



※ キーウェア九州(株)の取り組み

キーウェア九州(株)では、2016年3月27日(日)に国営公園 海の中道海浜公園が主催するボランティア活動に社長をはじめとして9名が参加しました。

きれいに見えた浜辺でしたが、ビン、カン、ペットボトル、ビニール、洗剤のボトル、発泡スチロールなどさまざまなごみがたくさんありました。わずか1時間半程度の活動ですが、開始から30分もすると中腰がきつくなり汗が出てきました。しかし、その甲斐もあって、活動終了時には本当にきれいな浜辺になりました。

天気も晴れ、海からの風が心地よく、最高の気分になりました。いつか、かつてのように海ガメが産卵に戻ってくることを社員一同祈っています。



※ (株)クレヴァシステムズの取り組み

(株)クレヴァシステムズでは、「社員の成長が会社の成長に繋がる!」をモットーに掲げ、次のような人材育成に注力しています。

- ①基本設計実践研修、スキルチェンジ研修、次世代PM研修等の技術研修
- ②Biz Campus、プレゼンテーショントレーニング等のヒューマンスキル研修
- ③研修受講者が講師になって学びを共有するワーキンググループ活動や勉強会
- ④資格取得への支援

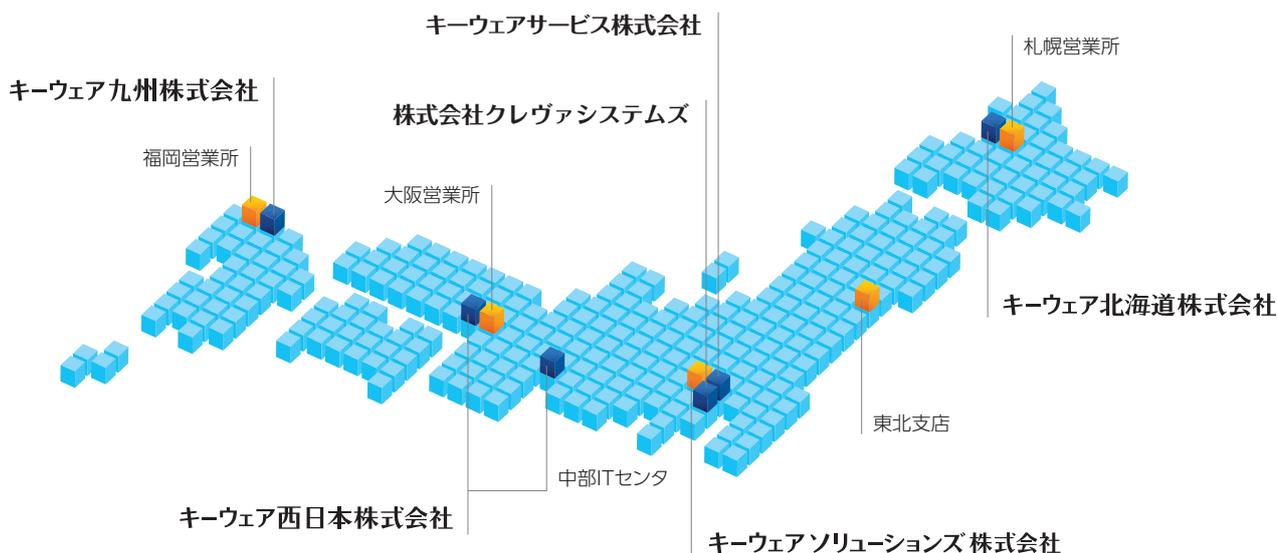
社内のコミュニケーション活性化を目的として設立したCCT (Creva Communication Team)の活動では、プロジェクト交流会やバーベキュー大会等を企画・運営して、役職や部門の垣根を越えた社員同士の交流の場を提供しています。また、「社員がもっと働きやすい環境を作る」をテーマに議論を重ね、制度改正への提案も行なっています。

地域交流の一環として、「芝地区クリーンキャンペーン～路上喫煙ゼロのまち!～」の自治体活動に昨年登録、路上清掃や喫煙マナー向上の啓発活動等、地域活動にも参加しています。



会社概要

会社名	キーウェアソリューションズ株式会社	キーウェアグループ	キーウェアサービス株式会社
創立	1965年5月		キーウェア北海道株式会社
資本金	17億37百万円		キーウェア西日本株式会社
売上高	159億88百万円 (2016年3月期・連結)		キーウェア九州株式会社
従業員数	1,079名 (2016年3月31日現在・連結)		株式会社クレヴァシステムズ
上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部 (証券コード: 3799)		



編集方針

「キーウェアグループ CSR報告書2016」をお読みいただき、誠にありがとうございます。キーウェアグループのCSR活動の内容と結果について、ステークホルダーの皆様へ、適切にわかりやすくご報告することを目的として「CSR報告書」という形でご報告しています。

キーウェアグループは、今後も企業活動を通じて豊かな社会の発展に貢献するだけでなく、広く社会とともに継続性のある未来を築いていくため、積極的にCSR活動を行ってまいります。本報告書をお読みいただき、ぜひ忌憚のないご意見やご感想をお寄せいただければ幸いです。今後のCSR活動の参考とさせていただきます。

ホームページ

キーウェアグループの社会・環境活動 (CSR) につきましては、ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.keyware.co.jp/csr/index.html>



報告対象組織

キーウェアグループ全体を対象としています。

報告対象期間

2015年度 (2015年4月1日～2016年3月31日)
※一部に2016年度以降の活動も含んでいます。

発行年月

2016年8月

表紙デザインについて

表紙のデザインには、いつまでも続く豊かな人々の暮らし・社会・環境へのキーウェアグループの想いを込めています。そして、その実現に向けたキーウェアグループのICTを通じた事業への取り組みを表現しています。

KEYWARE
SOLUTIONS

キーウェアソリューションズ株式会社

〒156-8588 東京都世田谷区上北沢5-37-18
経営管理部 CSR推進室
TEL 03-3290-1111 FAX 03-3290-6741
<http://www.keyware.co.jp/>

